



ICHIKAWA H.S

NEWSLETTER

AGENCYの育成を
目指す緑学年通信

VOL.27
6 FEB, 2026

普通科はいよいよ海外研修へ♪

昨日は海外研修壮行会が行われました。

田中校長からは、「ニューヨークの日本食レストランでアルバイトをしていた話。1年半いたので聴くのはそれなりにできるようになったが、話す方は自分からあまりチャレンジしなく全然上達しなかった。あのときもっと自分から話しておけばよかったと今でも後悔しているので、みんなにはぜひ積極的に頑張ってきてほしい」

井澤先生からは、「異文化理解、多文化共生というけれども、考え方のベースは“受け入れる”ということだと思います。みんなが好き勝手やってもいいわけではなく、受け入れてくれる人がいるから多文化になっていく。ぜひ“普通”の違いを身をもって体験してきてください」

1年間事前学習を中心となって運営してきた角田先生からは、「海外研修は楽しいことばかりではありません。辛いこともあると思いますが、その負荷が成長の糧になると思います。負荷なしで人は成長しません。みんなで協力して乗り越えていきましょう」とお話がありました。

私からも一言。「Tik Tok,instagram,Xはおそらく2週間は必要がない。そして想像以上にあっという間だろう。1cmでいいから成長して帰ってきてほしい。2週間がんばって。」



いよいよオーストラリアへ♪いってらっしゃい



普通科が海外研修や国内組プログラムで異文化について理解を深めようとしていく裏で、福祉科は今日が2週間の施設実習の最終日です。実習を終えたみなさん、お疲れさまでした。実習で得た新たな知見を今後の学校生活とリンクさせながら、学びを深めてほしいと思います。

介護福祉士の国家資格は、高校や大学を卒業後に実務経験3年以上+実務者研修の受講を経て介護福祉士を受験する「実務経験ルート」が約7割程度とされています。しかし、本校は「特例高校等福祉系高等学校等卒業による受験」が認められているので、実務経験ルートよりも早く、資格を取得した状態で仕事をすることができます。介護の仕事は一般には重労働で大変だと言われますが、AIがますます発達してもなくなる仕事ではありませんし、どんな人も将来的には必要とする替えが利かない仕事です。私の祖父も生前は訪問介護の方に大変お世話になり、共通の趣味に野球があったので街中で会えば今でもいろんな話をします。こうやって仕事をするときのことを想像してみると、どんな科でも、やっぱりコミュニケーションは大事なものになってきそうですね。この緑学年の学年経営目標の一つには『「ありがとう」と「ごめんなさい」を素直に言える人を育てる』があります。この点はまだまだ足りていないと正直感じています。もっと素敵なあいさつ溢れる学年にみんなでしていけたら最高だね。